

(参考) 障害者等用駐車区画の適正利用に関するアンケート調査の結果について

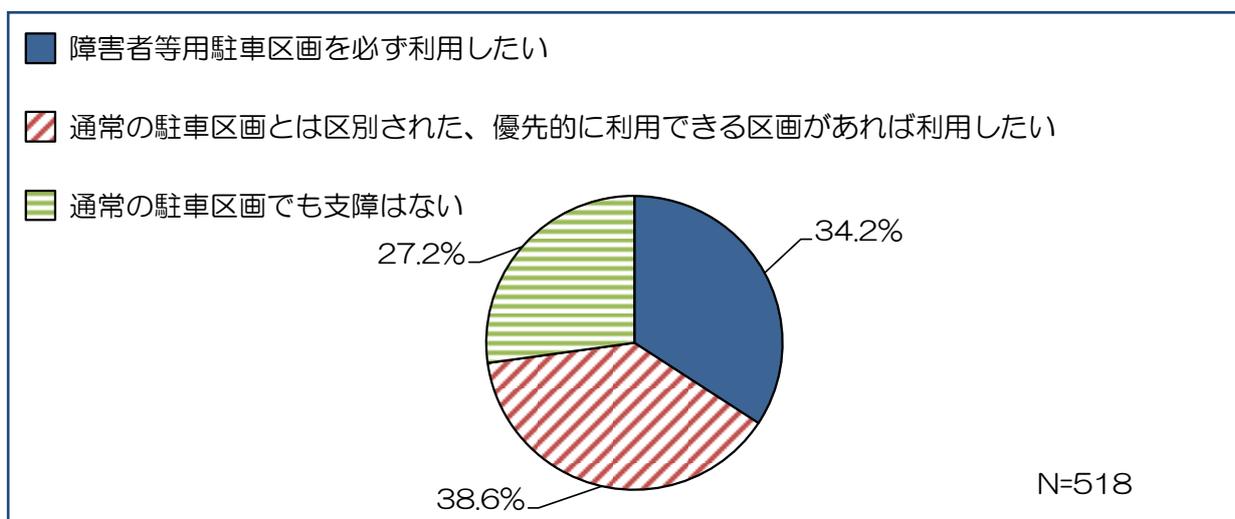
東京都では、平成24年に障害者等用駐車区画の適正利用に関するアンケート調査を実施しました。

- 利用者調査：外出の際に車いすを使用している障害者や高齢者など
(回答数534)
- 施設管理者調査：障害者等用駐車区画を有する物販店や飲食店などの施設
(回答数569)

障害者等用駐車区画の利用に関して

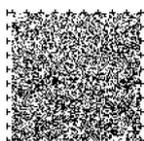
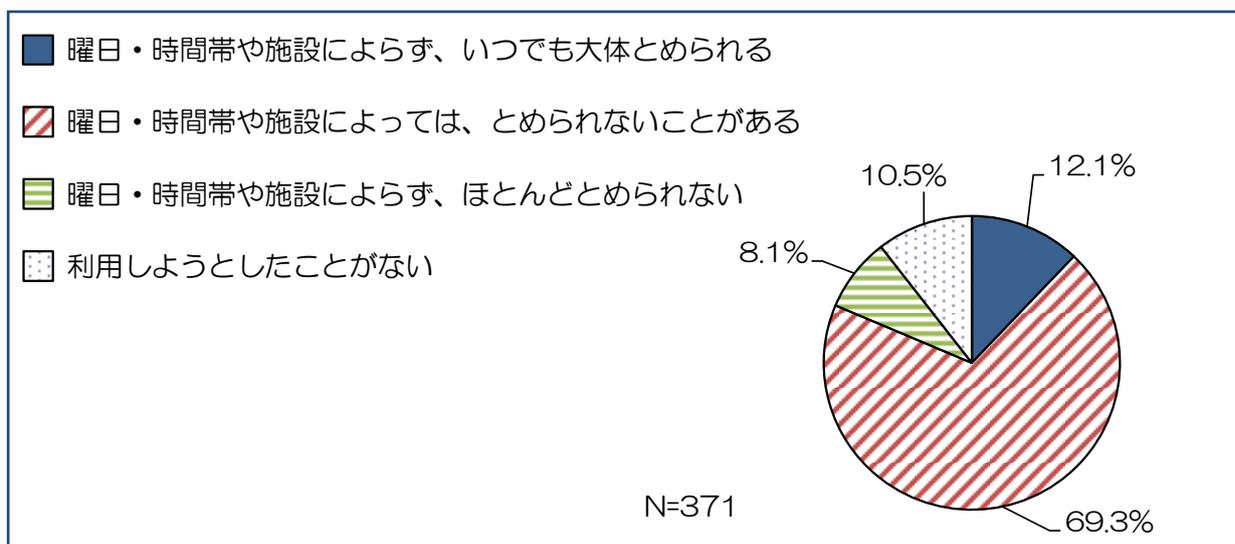
● 障害者等用駐車区画の利用意向（利用者調査より）

「必ず利用したい」は34.2%、「通常の駐車区画とは区別された、優先的に利用できる区画があれば利用したい」は38.6%であり、利用意向は7割を超えている。



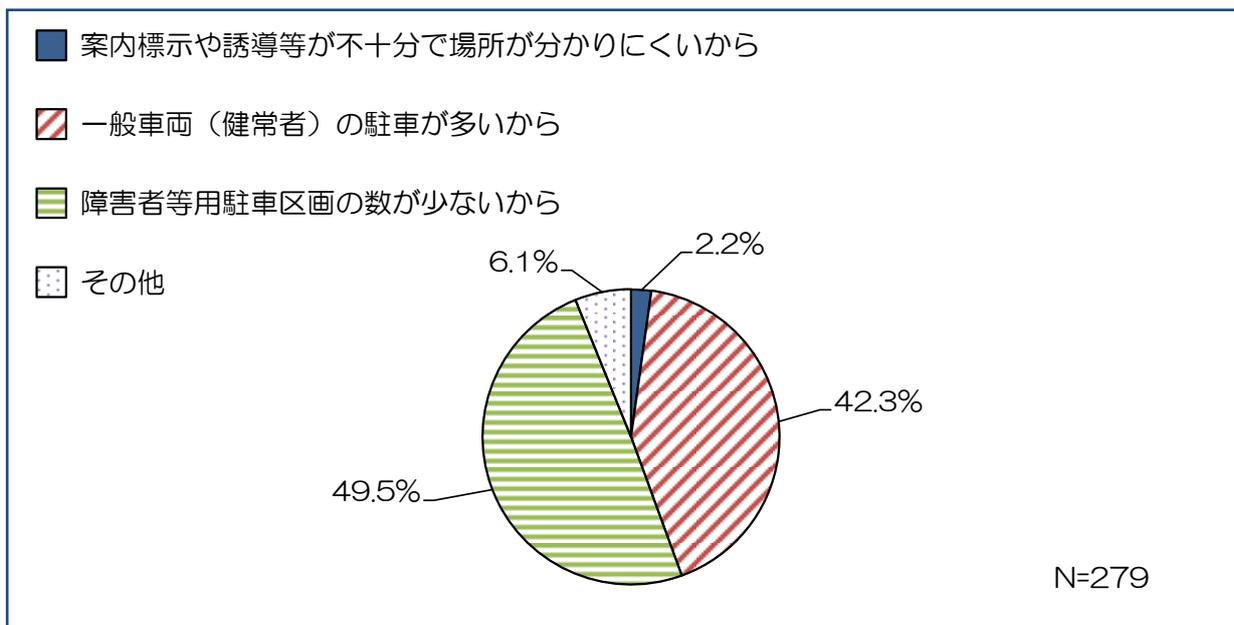
● 障害者等用駐車区画のとめやすさ（利用者調査より）

曜日・時間帯や施設によってはとめられないとの意見が大半を占める。



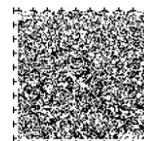
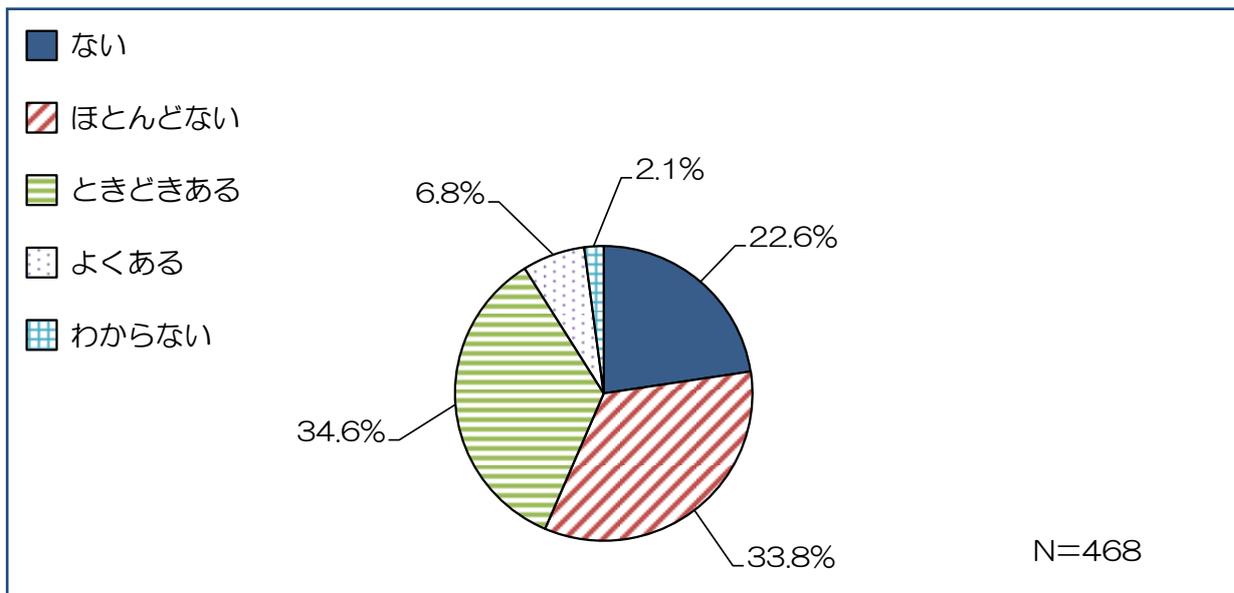
● 障害者等用駐車区画を利用できない原因（利用者調査より）

- ・ 健常者の駐車が多い（42.3%）
- ・ 障害者等用駐車区画の数が少ない（49.5%）



● 健常者による不適正な駐車状況（施設管理者調査より）

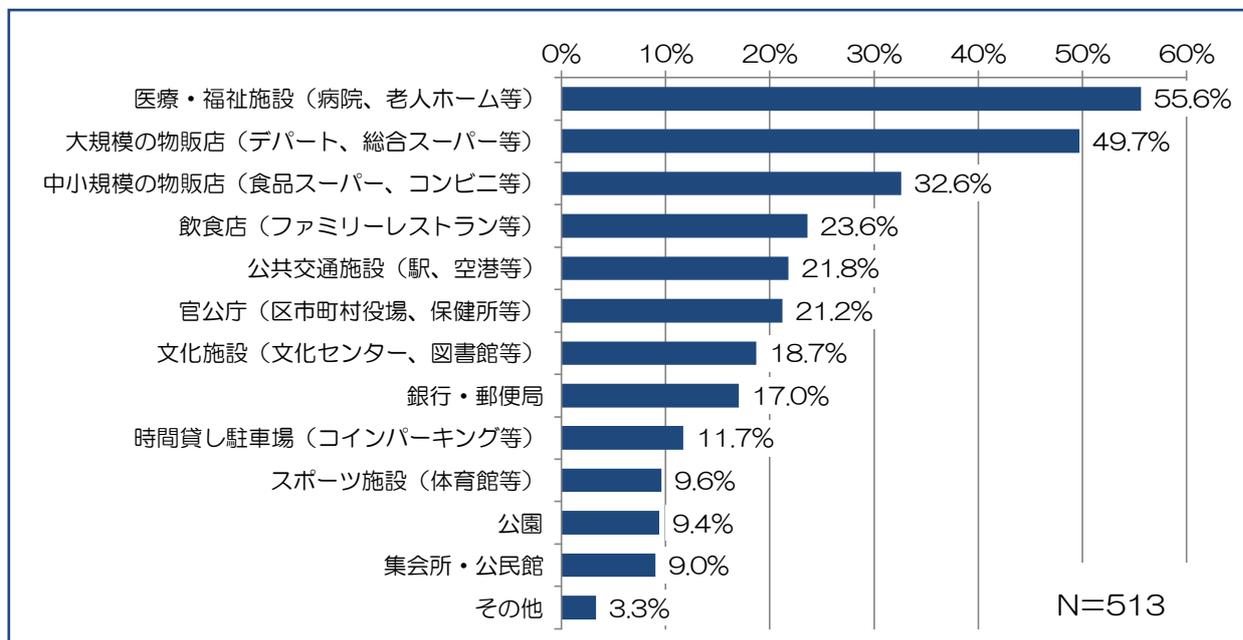
施設管理者においても、健常者の不適正な駐車が「ときどきある」と「よくある」を合わせて41.4%となっている。



適正利用に向けた対策などに関して

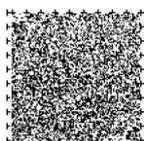
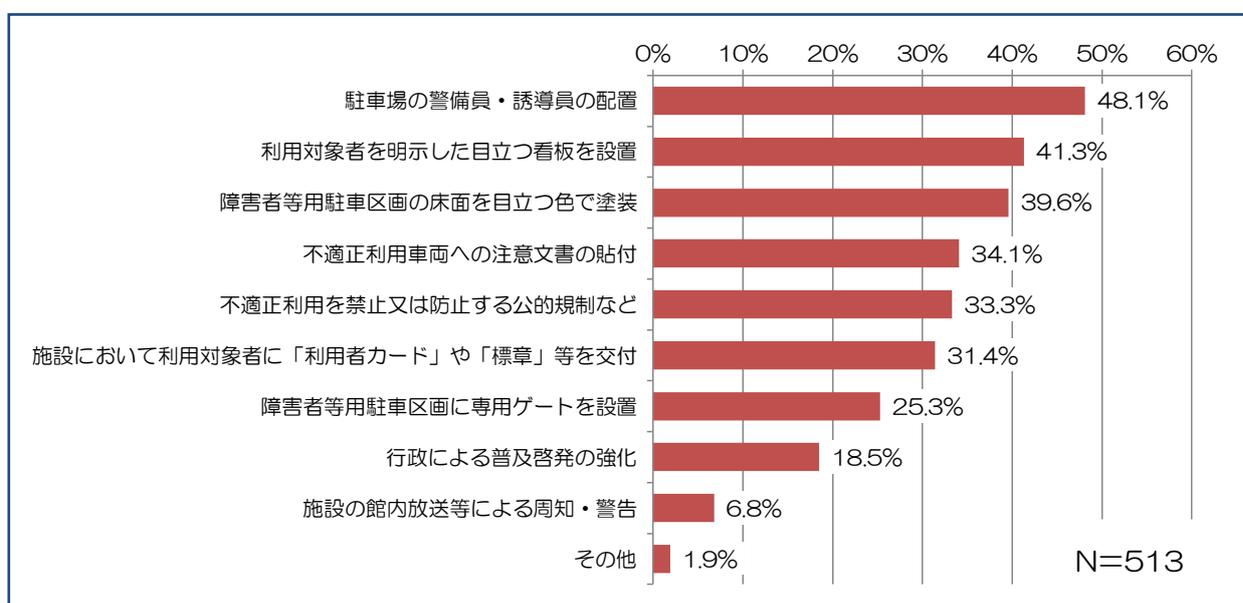
● 適正利用を特に推進してほしい施設（利用者調査より）

適正利用は、医療・福祉施設や大規模物販店、飲食店等、日常的に利用する様々な施設で求められている。



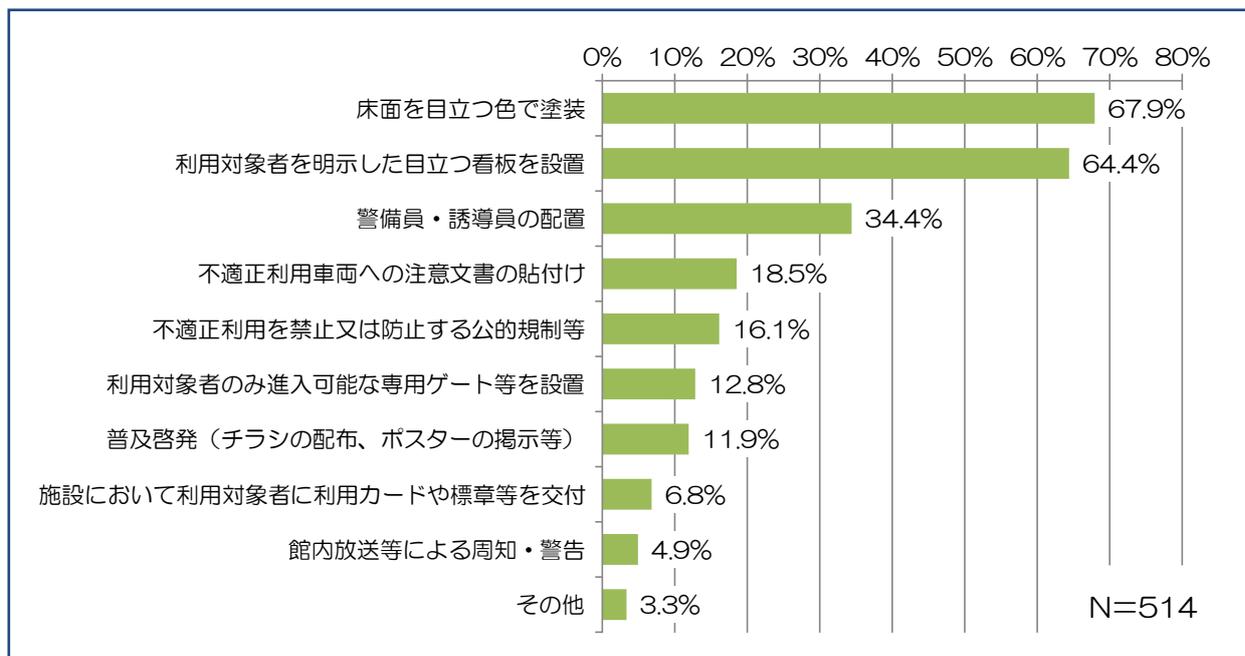
● 適正利用のために有効と考える対策（利用者調査より）

利用者が有効と考える対策は、「警備員・誘導員の配置」、「利用対象者を明示した看板の設置」、「床面を目立つ色で塗装」などとなっている。



● 適正利用のために有効と考える対策（施設管理者調査より）

施設管理者が有効と考える対策は、「床面を目立つ色で塗装」、「利用対象者を明示した看板の設置」、「警備員・誘導員の配置」などとなっている。



● 適正利用のために実施している対策（施設管理者調査より）

実施している対策としては、「床面を目立つ色で塗装」、「利用対象者を明示した看板の設置」、「警備員・誘導員の配置」が多くなっている。

